

これまでの宇宙科学・探査小委の議論を踏まえた留意事項

来年3月に我が国が主催する国際宇宙探査フォーラム（ISEF2）に向けて、我が国としての国際有人宇宙探査の検討に向けた原則とすべき基本的な考え方の取りまとめが求められている。その検討に当たっては、以下の視点を考慮に入れるべき。

1．意義や成果等

- 有人宇宙探査等国家プロジェクトとしての宇宙探査について、以下のような意義や成果等を精査すること
 - ・産業・科学技術の基盤や国際競争力等の維持・強化
 - ・強みのある技術の維持・発展等を通じた国際的プレゼンスの確保
 - ・ISS技術の活用・継承による宇宙探査の効果的な推進

2．目標や資金の在り方

有人宇宙探査等国家プロジェクトとしての宇宙探査の政策的価値や学術的価値の最大化や、学術としての宇宙科学探査において計画されているプロジェクトの着実な実施に留意しつつ、国家プロジェクトとしての宇宙探査の具体的な目標や資金のあり方を検討すること

3．学術としての宇宙科学探査との関係

有人宇宙探査等国家プロジェクトとしての宇宙探査と学術としての宇宙科学探査の意義や意思決定過程が異なることを踏まえ、それぞれの取組みを尊重しつつ進めること

その際、学術としての宇宙科学探査で得られた知見は、有人宇宙探査等国家プロジェクトとしての宇宙探査の実施計画の立案に当たっても有用であり、当該計画の立案に当たっては、そのような知見を反映できるようにすること。

上記のほか、宇宙探査を支える人材の確保の在り方や、近時国際的に注目されつつある宇宙資源探査の在り方、宇宙探査に関する民間企業の動向を受けた対応について、別途検討する必要がある。

参考 1

宇宙基本計画（平成 28 年 4 月 1 日閣議決定） 関係箇所抜粋

国際有人宇宙探査については、計画が今後国際的に検討されるものであることから、他国の動向も十分に勘案の上、その方策や参加の在り方について、外交、産業基盤維持、産業競争力強化、科学技術等に与える効果と要する費用に関し、厳しい財政制約を踏まえつつ、厳格に評価を行った上で、慎重かつ総合的に検討を行う。

参考 2

国際宇宙ステーション(ISS)計画の延長の検討に際して宇宙政策委員会が示した見解（平成 27 年 8 月 28 日付）において示されている以下のような ISS 参加の意義（ポイントのみ抜粋）

新たな日米関係の構築

アジアで唯一 ISS 計画に参画している日本として、ISS をアジア諸国の宇宙開発を支援する機会の提供

我が国の新しい宇宙技術・機器の技術実証プラットフォームとしての役割を果たすこと（費用対効果を考慮）

我が国の宇宙機器及び関連技術が採用されることによる、我が国の国際競争力の強化